海外の消防

What!

海外消防情報センター

海外消防情報センターは、海外の消防情報の提供と日本の消防事情の海外への紹介を目的として設立されました。

海外の消防事情については、アメリカ、イギリス、中国、オーストラリアなど13カ国について国別に消防・防災体制の概要を取りまとめ、WEBサイトで公開しています。また、この８月には、「タイの消防事情」の改訂版を公開し、さらに、年度内には「ベトナムの消防事情」の改訂版も公開する予定です。いずれも現地取材に基づいた写真や動画をふんだんに盛り込み、読むだけでなく、見るだけでも当該国の消防事情が分かるように編集しています。

海外で発生したトピックス的な事案についても紹介しています。昨年６月にロンドンで発生した高層マンション火災については、本誌2018年５月号に掲載された関澤東京理科大学大学院教授の論説を転載するとともに、その英訳版を作成し、公開しました。英訳版を作成したのは、同火災が多くの教訓に富んだ事例であることから、海外の読者にも紹介

する価値があると考えたからです。

マンションを含めた高層ビル火災は世界的に増加する傾向にあるようですが、そうした世界の火災の動向については「世界の主な大規模火災」で類型別に整理し、紹介しています。なお、地震や台風などの自然災害についても「世界の主な自然災害」で地域別に整理し、紹介しています。

また、13カ国（日本を含めると14カ国）の消防事情については、「世界の消防　比較表」を作成しています。これを見ると、日本の消防が質量ともに優れていること（おそらく世界一の水準にある）、消防が救急業務を全面的に行っているのは、世界の中では日本と韓国（及び台湾）だけであるとか、東南アジア諸国の火災発生率が極めて低いことなどが分かろうかと思います。

一方、日本の消防事情の海外への紹介としては、日本の消防制度、防火安全対策、危険物規制、救急業務、救助行政、予防行政等の概要や消防法、同法施行令、消防組織法、国民保護法などに加え、消防白書の概要や一部抜粋の英訳を行い、公開しています。

また、最近では、実際の火災や地震・水害などの際に自治体や消防機関がどのような活動を行ったのか、災害事例を踏まえた消防庁の研究会の検討結果などについても英文で紹介しています。さらに、本年８月には、小林東京理科大学総合研究院教授の「自治体消防70年の歩み」を英訳し、公開しました。なお、これらについては、一部を除き和文も用意されています。

日本の消防事情についての概要をこれほど的確にまとめたサイトは他に類例がないと思います。外国の方だけでなく、実は日本人にとっても、例えば新採で消防職員になられた方、県庁や市役所の消防防災課に初めて配属された方などには、極めて有用なサイトだと思います。また、和英対照なので、消防英語の勉強にもなりますが、なんと海外消防情報センターでは、消防和英単語集の作成も年度内の公開に向けて準備を進めているところです。

最後に大事なことですが、当サイトの閲覧、ダウンロード等は自由（無料）です。

読者の皆様の当サイトへの訪問をお待ちしています（URL：http://www.kaigai-shobo.jp/）。

〈英語版サイト〉

消防白書を英訳
英語トップページの［Fire Services in Japan］からジャンプできます。

〈日本語版サイト〉

日本語トップページの［お知らせ］からは最新情報へジャンプできます。